

## 次世代育成支援対策行動計画

岡山医療生活協同組合（以下、組合と言う。）は、組合の職員が仕事と子育てを両立させることができ、職員全員が働きやすい就労環境の整備を進めることにより、すべての職員がその能力を十分に発揮できるようにするために次のような行動計画を策定し、組合を挙げて取り組むものとする。

### 1. 期間

2018年4月1日より2021年3月31日までの3年間とする。

なお、計画期間終了後においては目標等の達成状況を確認し、未達成の行動計画については、その後も目標達成に向けて取り組むものとする。

### 2. 行動計画

#### 目標 1

##### 育児休業制度の利用促進と院内保育所の検討

職員に、育児休業制度の周知を強化し、取得率を上げるための手立てを講じる。

職員に、産前産後及び育児休業中の様々な公的給付や組合内の制度についてまとめた冊子を作成し、それを基に説明や援助を行う。

院内保育の検討を進め、子育て中の職員が働きやすい環境づくりを進める。

## 目標 2

### 時間外労働の減少

超勤対策プロジェクト会議を定期的を開催することで、引き続き時間外労働の減少に取り組み、家族が触れ合う時間を増やすことをめざす。

## 目標 3

### 年次有給休暇の取得促進

有給休暇を取りやすい仕組みを検討し、最低年 5 日以上の有給休暇を取得してもらうことで取得率向上をめざす。

## 目標 4

### 地域ぐるみの育児・子育てサポート

職員を含む地域ぐるみで育児や子育てをサポートしていくための行事を、引き続き取り組んでいく。

## 目標 5

### 勤務環境改善プロジェクト会議を立ち上げ、取り組みを推進

上記目標を含め、勤務軽減対策やワーク・ライフ・バランス推進のための様々な委員会を統括する会議として、勤務環境改善プロジェクト会議を立ち上げ、取り組みを推進してい